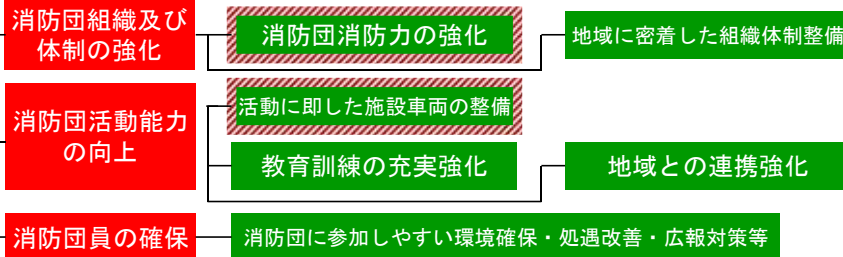


さいたま市消防団充実強化計画（案）の概要

充実強化計画の策定項目

充実強化計画



充実強化の必要性

- 消防力の整備指針で示す常備消防力は、火災等の通常災害に対応するために必要な消防力であることから、地震等の大規模災害に対応するために必要な消防力を確保するため、消防団の充実強化が必要となっている。
- 通常災害においても、常備消防は動態管理により市内全域への上場となるが、消防団は基本的に当該地区が出場区域であるため、常備消防出場後の補充消防力としての運用を図ることができ。
- 地域の実情に精通した消防団は、常備消防には無い特性である地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面で優れた組織であり、大規模災害発生時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安心・安全の確保のうえで、不可欠な組織となっている。

本市の消防団体制として、バランスのとれた消防団消防力を確保するための取組を最優先に実施していく。また、消防団施設整備についても、喫緊の課題となっていることから、計画的に整備し充実強化を図っていく。

消防団消防力の強化

●現状と課題

行政区ごとの消防分団数及び団員数に大きな違いが見られるとともに、消防分団が担当する行政区内の人口及び面積が不均衡となっているため、これを是正し、常備消防と一体となった消防力全般の底上げと強化を図る。

●行政区別消防団の状況（現状と増強後の体制）

区	人口	面積	現体制			増強後の体制		
			分団数	人口/分団	面積/分団	分団数	人口/分団	面積/分団
西 区	85,246	29.14	3分団	28,415	9.7	5分団	17,049	5.8
北 区	143,726	16.91	3分団	47,909	5.6	6分団	23,594	2.8
大宮区	111,497	12.75	7分団	15,928	1.8	7分団	15,928	1.8
見沼区	159,192	30.64	4分団	39,798	7.7	6分団	26,532	5.1
中央区	95,875	8.39	6分団	15,928	1.8	6分団	15,928	1.8
桜 区	95,469	18.59	5分団	19,094	3.7	5分団	19,094	3.7
浦和区	147,538	11.51	8分団	18,442	1.4	8分団	18,442	1.4
南 区	175,981	13.89	7分団	25,140	2.0	7分団	25,140	2.0
緑 区	114,189	26.51	8分団	14,274	3.3	8分団	14,274	3.3
岩槻区	112,297	49.18	11分団	10,200	4.5	11分団	10,200	4.5
合 計	1,241,010	217.51	62分団	20,016	3.5	69分団	17,986	3.2

●消防分団増強に伴う団員確保の方向性（取組）

消防分団増強に伴う公募の実施、女性消防団員の入団促進や広報活動を拡充していくことを始めとして、自警消防団員の活用及び自警消防団からの要望に基づく消防団への移行等についても考慮していく。なお、課題としては、地元への説明並びに調整が必要となる。

●消防分団増強のスケジュール概要

- 平成25年度 地元との調整
- 平成26年度以降 地元との調整・予算要求・例規改正

充実強化に向けての具体的な取組み

活動に即した施設車両の整備

施設整備

●現状と課題

既存62施設の中には、老朽化や機能（詰所・トイレ等）の不備が著しい施設があることから、災害活動拠点としての機能を果たすために、全ての施設が一定の水準を確保できるよう計画的に改修又は更新していく必要がある。
*詰所（会議室）については、消防分団の会議、研修及び災害時の待機スペースとして必要なスペースとなっている。特に風水害や震災の際の活動拠点として不可欠である。【消防分団側からも強い要望のあるスペースとなっている。】

●整備計画の概要

- ・整備期間 13年間（H25～H37年度）
- ・対象施設数 31施設
- ・改修内容
耐震補強： 6施設
建替： 25施設
- ・年間建替施設数 2施設

建築経過年数	施設数	改修数		
		詰所無	耐震必要	
10年未満	3			
10年以上20年未満	9			
20年以上30年未満	18	5	5	
30年以上35年未満	19	13	7	8
35年以上40年未満	5	5	2	5
40年以上	8	8	3	8
合 計	62	31	17	21

●改修等の優先順位

順位	種別	時期	施設数	対象施設
1	補強	H25～H26	6	・耐震診断実施施設（補強必要）のうち、詰所を有している施設
2	建替	H25～H33	16	・耐震診断実施施設（補強必要）のうち、詰所が無い施設 ・耐震診断実施施設（補強必要）のうち、詰所を有しているが補強により車庫に影響を及ぼす施設 ・補強に要する費用が高額となっている施設
3	建替	H32～H37	9	・耐震診断実施施設（補強不要）及び耐震診断実施以外で詰所が無い施設

車両配備

●現状と課題

現状では、配備車種（消防ポンプ車）が限定されていることから、地域特性を踏まえた車両を配備していく必要がある。

●今後の車両配備等の方向性

地域特性及び活動の利便性を考慮した車両配備を進める。